

令和 5 年度第 2 回
大口町下水道事業経営審議会

令和 5 年 1 1 月 2 9 日

本 日 の 議 事

1. 「大口町下水道事業経営戦略」の見直しについて

1. 「大口町下水道事業経営戦略」の 見直しについて

「経営戦略」とは

- 総務省通知「公営企業の経営に当たっての留意事項について」（平成26年8月）において、将来にわたって安定的に事業を継続していくための、中長期的な基本計画である「経営戦略」を策定することが求められました。
- 大口町の下水道は、比較的新しいものですが、将来的には人口減少や節水器具の普及等による使用料収入の減少や、施設の老朽化に伴う更新費用が増大することなどから、下水道事業を巡る経営環境は厳しさを増すことが予想されます。



令和元年5月「大口町下水道事業経営戦略」を策定しました

「経営戦略」とは

◆ 経営戦略の特徴 ◆

- ・ 公営企業及び地域の現状と、これらの将来見通しを踏まえたものであること。
- ・ 計画期間は10年以上を基本とすること。
- ・ 計画期間中に必要な住民サービスを提供することが可能となっていること。
- ・ 支出と収入が均衡した形で「投資・財政計画」が策定されていること。
- ・ 効率化・健全化のための取組方針が示されていること。

「経営戦略」とは

計画の策定で終わりではなく、PDCAサイクルを働かせることが必要。



3～5年ごとに見直しを行うことが必要。

「経営戦略」とは

令和5年4月より、

- ① 下水道使用料の改定
→ 使用料収入の増収
- ② 地方公営企業法の財務規程を適用（法適用）
→ 会計処理が変更となる。
減価償却費等の支出が生じる。

当初の経営戦略の策定から5年が経過することに合わせて、令和元年度に作成した経営戦略を時点修正するとともに、会計方法の変更に合わせ、将来予測を見直しました。